

飯田市キャリア教育の取組の経過

R4. 修正

年度	研究内容等（○：義務教育 ■：高等学校）	取組の経過
18 19 20	○キャリアスタートウィーク推進地域指定（文科省）を受ける ・飯田西中学校が5日間の職場体験に取組む ※H17～キャリアスタートウィーク推進事業（文科省） ○飯田西中学校以外の中学校が3日間以上の職場体験に取組む	<b>【中学校での「職場体験学習」の定着期】</b> 飯田西中・丸山小をモデル校としてキャリア教育の推進 ○中学校の職場体験からスタート 飯田西中学校が職場体験に取組み、市内全中学校が続く
21 22 23 24	○飯田市のキャリア教育研究指定校制度を設け、小学校のキャリア教育にも取組む ・[研究指定校] 丸山小・飯田西中…H25まで ○小中一貫のキャリア教育の研究指定（文科省）に取り組む ●[研究協力校] 丸山小・飯田西中 ■学輪 IIDA 設立[19大学・43名] ○教科等におけるキャリア教育の研究 ・小中学校におけるキャリア教育年間指導計画の作成 ○キャリア教育における小・中・高の連携 ・「ふるさと学習」を中核にした「キャリア教育年間指導計画」の作成[モデル=丸山小・西中] ■地域人教育スタート[飯田 OIDE 長姫高校商業科]	<b>【小中一貫に向けたモデル実践・研究期】</b> ○キャリア教育のプラットフォームを構築しキャリア教育スタート ・飯田市キャリア教育推進協議会、キャリア教育研究委員会、キャリア教育小中連携協議会の設置 対象を小学校まで拡大し、職場体験に留まらずキャリア教育全般を推進 ○「ふるさと学習」を中核にすえた小中学校の年間指導計画作成 □地域人教育は2人の商業科教諭の熱意で誕生
25 26 27 28 29 30	○「ふるさと学習」を中核にキャリア教育の推進 ・年間指導計画に基づいた実践と検証 ・小学校キャリア教育担当職員研修会の実施 ○全小中学校でキャリア教育指導計画作成 ○キャリア教育年間指導計画を基に小中学校での実践が始まる ・各中学校区の専門部会等で小中9年間見通した指導計画を研究 ○第2次飯田市教育振興基本計画がスタートし、L G（地域・地球）飯田教育の視野から、ふるさと学習とグローバル教育の一体的な推進を中核に据えた義務教育9年間の系統的なキャリア教育に取り組む ■市内高等学校長との意見交換会スタート（年2回） ○全中学校区で、小中一貫した9年間のキャリア教育指導計画を作成	<b>【普及・実践期】</b> 市内全小中学校においてキャリア教育を推進 ○キャリア教育指導計画の作成 「ふるさと学習」を中核としたキャリア教育指導計画を作成 ○L G飯田教育がスタート 「ふるさと学習」と「グローバル教育」を一体的に推進するキャリア教育の出発 ○小中一貫したキャリア教育指導計画 全中学校区で9年間を見通したキャリア教育指導計画を作成
1 2 3 4	○小中連携・一貫教育で取り組む系統的なキャリア教育の実践の積み重ねと修正 ○キャリア教育推進の主管を学校教育課に置く ・学校と地域・社会がつながる飯田型キャリア教育 ・切れ目ないキャリア形成の見える化 ■市内高等学校長との懇談会（年3回：教育委員会） ○飯田版キャリアパスポート共通ページの作成 ○飯田型キャリア教育推進体制と主管課の変更	<b>【連携・協働期】</b> ○飯田型キャリア教育の資質・能力の見直し （文科省が例示する基礎的・汎用的能力と整合） ○飯田型キャリア教育（人材育成プログラム）の全体像の提案～幼保・小・中・高・大～ ◇県・上伊那と連携し「伊那谷 de キャリア教育」の推進（リニアパレー構想実現プランの一つ）

【成果】児童生徒のキャリア形成を育むために、各主体は「地育力」を活用した様々な取組を先進的・独自的に進めてきた。

【課題】小中連携から「幼保・小」と「中・高」のつながりへ視点をあてた取組による地域人材育成のため、地域、事業所、教育、福祉機関、行政が連携した人材育成は必要。